

特集

● 若者が創る ●

水戸の 青少年ボランティア

問合せ／生涯学習課(☎306-8692)

さまざまな場面で
活躍しています！

さまざまな事業の
サポートをしたり

話し合ったり



水戸市サプリーダーズ会の皆さん

自分たちにできることを

考えて行動したり



①水戸黄門漫遊マラソンでの給水・給食の配布(高校生ボランティア) ②冬休み期間中に、中学生を対象に数学の学習支援を行う「SPOT IN MITO」(高校生ボランティア) ③定例会(水戸市サプリーダーズ会) ④定例会(みと青年会) ⑤・⑥水戸偕楽園花火大会の開催前のおもてなし清掃活動(みと青年会) ⑦・⑧・⑨高齢者が詐欺の被害に遭わないために、標語とイラストを考案・作成し、マスクと一緒に配布する主催事業(水戸市サプリーダーズ会)

日本の若者のボランティア活動に対する興味

平成30年度に内閣府によって、日本、アメリカ、イギリスなど7か国の満13〜29歳の男女の若者を対象に、「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」が行われました。ボランティア活動に対する興味を聞いたところ、「ある」と答えた日本の若者の割合は33・3%で、7か国の中で最も低い割合となりました(グラフ1)。また、平成25年度の調査と平成30年度の調査を比較すると、興味がないと答えた割合は6・2%高くなりました(グラフ2)。

このように、ほかの国の若者と比べると、日本の若者はボランティア活動に興味がある人の割合が低く、興味がない人の割合が増えてきていることが分かります。このような状況の中でも、市内では、ボランティア活動に魅力を感じ、活動する青少年(高校生)・社会人の若者がいます。この特集では、ボランティア活動にもっと興味を持ってもらえるよう、市内の青少年ボランティア活動を紹介します。

市の事業などで活躍する高校生ボランティア

市では、高校生の社会参加を促進し、高校生の主体性や積極性、自己肯定感を高めるとともに、地域への興味や関心を持ってもらうため、市の事業などで、高校生ボランティアの活動に携わってもらっています。令和4年度からは、生涯学習課が市の担当部署と市内の高校を結ぶ窓口となっています。令和4年10月の水戸黄門漫遊マラソンでは、給水・給食の配布や梅香トンネル内のイベントの補助コース上の距離表示など、710名の高校生ボランティアが活躍しました。また、令和4年12月の茨城県議会議員一般選挙では、8名の高校生ボランティアが期日前投票所の投票立会人として選任され、投票の様子を見守りました。

市内で活動する青少年ボランティア団体

市内では、高校生で組織された「水戸市サプリーダーズ会」と、おむね18〜30歳の若者を中心に組織された「みと青年会」の2つの青少年ボランティア団体が活動しています。次ページから、それぞれの団体について紹介します。

グラフ1 7か国のボランティアに対する興味 (%)

国	興味がある (%)	興味がない (%)	わからない (%)
アメリカ	65.4	23.5	11.1
イギリス	52.7	31.8	15.5
韓国	52.6	28.8	18.6
フランス	51.7	30.7	17.6
ドイツ	49.6	30.8	19.6
スウェーデン	45.8	27.3	26.9
日本	33.3	48.1	18.5

グラフ2 日本のボランティアに対する興味 (%)

年度	興味がある (%)	興味がない (%)	わからない (%)
平成25年度	35.1	41.9	23.0
平成30年度	33.3	48.1	18.5

■ 興味がある ■ 興味がない ■ わからない
※グラフ1・2いずれも内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」のデータをもとに作成。



実際に選挙にかかわって
みて、投票することの大切さを
身にしみて感じました！

投票立会人に選任された高校生ボランティア



水戸黄門漫遊マラソンで活躍する高校生ボランティア





みと青年会

水戸を盛り上げるため、おもてなし清掃活動など、**地域に根ざした活動**として、自分たちでやるべきことを考え、その実現を目指し、活動しています。

水戸を盛り上げるための地域に根ざした活動

みと青年会は、市内に居住または通勤・通学する、おおむね18〜30歳の大学生や社会人によって組織されたボランティア団体です。昭和56年5月に発足し、現在は、大学生や専門学校生、会社員など、計16名が活動しています。

大学生や社会人によるボランティア団体

令和4年度の活動内容

●地域に根ざした活動●



おもてなし清掃活動
水戸黄門漫遊マラソンや水戸偕楽園花火大会などのイベントの前に、訪れた方に、気持ちよく会場に向かい、楽しんでもらえるよう、清掃活動を実施しました。



オリジナルTシャツを着て活動しています！

「水戸市青少年育成推進会議」の活動への協力

少年の主張大会などのイベントの企画に、委員として携わり、会議に参加して、若者の目線から意見を述べたり、運営に協力したりしました。



中学生交流会では、意見をまとめる際に助言をしたり、発表のサポートをしました。



小学生の頃にイベントで出会ったサブの方に憧れ、私も高校生の時はサブの活動をしていました。その後も、ボランティア活動をしたと思い、みと青年会で活動しています。活動をとおして、地域の方と関わり、つながりを持つことができ、視野が広がりました！

みと青年会で

活動したい方は…

地域に貢献したい方、イベントの運営やボランティア活動に興味がある方、大歓迎です！

年会費/1,000円

申込み/随時受付けていますので、Eメールに、件名「みと青年会申込」と明記のうえ、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを記入し、みと青年会事務局(生涯学習課内、seisyounen@city.mito.lg.jp)へ
※詳細は、市ホームページをご覧ください。



こちらもぜひご覧ください！



活動などを発信しています！



Twitter



Instagram



水戸市サブリーダーズ会

高校生によるボランティア団体

水戸市サブリーダーズ会は、市内に居住または通学する高校生によって組織された、ボランティア団体です。
昭和50年10月に発足し、今年で48年目を迎えました。現在は17校の高校から、1年生38名、2年生43名、3年生36名、計117名が集まって活動しています。通称、「サブ」「高校生会」と呼ばれています。

令和4年度の活動内容

イベントのサポートや、主催事業を開催
市教育委員会の指導のもと、市や子ども会などが主催する**イベントのサポート**をしたり、メンバーが自らイベントの企画や運営、チラシの制作などを行う**主催事業を開催**したりしています。
そのため、月に2回程度、定例会を開き、次に行うイベントや事業について話し合い、準備をしています。

このほかにも、サブリーダーズの活動や、将来的に役に立つことを学ぶため、ビジネスマナーや救急救命などの講師を招いて、さまざまな**研修を受講**しています。

●研修を受講●



ビジネスマナー研修

さまざまな活動の際に必要なとなるビジネスマナー。身だしなみやお辞儀の仕方、言葉遣いなどについて学びました。

学校では得られないさまざまな学びを、得ることができます！



●主催事業を開催●

サブの宿題おたすけ隊

市内の小学生を対象に、高校生が「夏休みの宿題」の手助けをする勉強会を開催しました。



レッツ！スマートフォン

スマホに苦手意識を持つシニア世代をサポートするスマホ講座。画面の縮小・拡大の操作方法や、インターネットの検索機能などを丁寧に解説しました。

サンタさんのたからもの

市内の小学生と保護者を対象に、市少年自然の家で採れた巨大な松ぼっくりを使って、「松ぼっくりツリー」を製作するイベントを開催しました。



●イベントのサポート●



姉妹都市親善友好少年交歓研修
姉妹都市である敦賀市(福井県)と水戸市の、それぞれの小学生を中心とする使節団が交流する事業。互いの市を訪問する際に、子どもたちのサポートをしました。

二十歳のつどい

会場となったアダストリアみとアリーナで、参加者の受付や検温、会場内の誘導、記念誌の配布などを行いました。



友だちに声をかけられ、入ったサブリーダーズ会。サブの活動を始めてから、いろんな方と関わることが増え、人見知りを克服できました！



サブリーダーズ会で

活動したい方は…

サブリーダーズ会やボランティア活動に興味がある方、子どもが好きな方、大歓迎です！

年会費/350円

申込み/随時受付けていますので、入会申込書、アレルギー調査票に記入し、年会費を添えて、直接、水戸市サブリーダーズ会事務局(生涯学習課内)へ ※入会申込書、アレルギー調査票は、市ホームページで入手できます。

年度途中や2〜3年生からでも入会できます！

4月には、入会希望者説明会を実施する予定です。詳細は、市ホームページなどをご覧ください。

